

住民税非課税世帯に対する 臨時特別給付金(7万円)について

価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯等に対して1世帯あたり7万円を給付するものです。

受給するためには、手続きが必要な場合があります。



支給対象

- ▶ 令和5年12月1日において、糸満市に住民登録があり、世帯全員の令和5年度分の住民税が非課税の世帯
- ▶ 生活保護世帯

今回の給付金では、課税者の被扶養者のみからなる世帯(子に扶養されている高齢世帯、親に扶養されている学生など)は**対象外**となります。

配偶者からの暴力などを理由に避難している人への支給について

配偶者からの暴力などを理由に避難中の人で、事情により糸満市内に住民票を移すことができない人でも、一定の要件を満たす事で支給を受けられる場合があります。受給には、お手続きが必要となりますので、詳しくは給付金担当窓口か各相談窓口までご相談ください。

☎ 糸満市臨時特別給付金コールセンター ☎ 0120-824-288 ID 19957
※受付時間 8時30分～17時(土日祝日を除く)

国民健康保険被保険者証 切り替えおよび送付のお知らせ

現在、使用されている**コスモス色**の被保険者証は、令和6年3月31日までしか使用できません。4月1日からは**空色**の被保険者証に変わります。そのため、3月から次のとおり被保険者証の切り替えを行います。

市役所窓口切り替えの世帯には、2月下旬にハガキでお知らせします。なお、令和5年度国保税第7期分までを令和6年1月31日期限までに完納した世帯には、被保険者証を3月中に郵送しますので、市役所窓口での切り替えは**必要ありません**。

保険税の早めの納付をお願いします。また、保険税に未納がある場合は切り替え当日までに納めてください。

☎ 国民健康保険課 ☎ 840-8127 ID 21173



送付書類

対象の人は、①～③のいずれかが届きます。

① お知らせ

内容を確認後、相違がなければ**返信不要**。

② 確認書

必要事項を記入後、返送してください。

③ 申請書

必要事項を記入後、返送してください。



支給金額

1世帯あたり **7万円**



申請期限

5月31日(金) 消印有効

【新糸満造船】



糸満に戻る際、バイパスの大橋に乗って、東側の風景は山嶺毛とハーレー会場となる昔からの漁港、西側は、比較的に新しく、埋め立て地区が広がり、セリ場に港、工業団地とホテルがあります。ホテルの隣にフェリー、貨物船や巨大クレーンなどをよく見られる場所があります。慣れた風景ながら、あそこはいつか何をしてのか?と前から気になっていましたが、一般の方が見学する機会もなく、謎のままでした。

ところが、12月に糸満市観光協会が主催した「産業ツーリズム」のモニターツアーに参加することによってその場所は「新糸満造船株式会社」の敷地だと分かりました。「一言でまとめると、船の検査と維持を行う施設です。実際行ってみたら、自分の好奇心がただ単に満たされた以上、市民・県民の生活を支える、地域に根付いた重要な場所だと初めて分かりました。

船の維持管理はとても手間がかかるとう聞きま。確かに貨物船や特殊船も当然そうですが、フェリーなど、人を運ぶ船はなおさら厳しくて、法定検査を毎年受ける義務があります。しかも、我々の車の車検と訳が違って、船を陸に上げて、エンジンやパーツをバラし、隅々まで修理・修繕・部品交換などを行う、大掛かりな職人のメンテナンスです。

沖縄にある他の港でも行っていることですが、新糸満造船では、「シンクロリフト」という珍しいエレベーターに台車を載せたような装置を使い、船を陸にあげて検査と修繕を実施しているのが特徴です。国内で3箇所しか無く、新糸満造船

船のシステムは100m×25mで日本最大です。どんなもんかと気になった方は新糸満造船のホームページで動画を観られます。

設備がこのサイズになっているのは勿論、偶然ではありません。160島で構成されている沖縄県民の生活に必要な不可欠なフェリーなどの大型客船や高速船をちょうど扱えるサイズです。実は、2006年に新糸満造船でシンクロリフトが作られる前、沖縄の船は1000km離れた九州まで渡って検査と修繕に行っていたそうです。危険な上に長時間、億単位の莫大な費用もかかっていた回航を毎年繰り返していたことが地域課題で、それを解決する思いで新糸満造船にシンクロリフトを導入したそうです。

経済の面でも、沖縄の船主がせっかく稼いだ資金を他県の造船会社に払うより、主に沖縄資本の会社である新糸満造船と取引したほうが、地域へ経済効果が最大化します。その上、専門性の高い職業や技術も要しているため、まさに民間企業が地域に貢献するパターンです。

サバやミカガンなどの技術を通じて、糸満の事業者が沖縄全体に貢献してきたことが有名ですが、新糸満造船を取材した際、決して過去の話にとどまらず、海人のまちは現在進行形で最先端技術を通じて沖縄に貢献していることを誇らしく実感しました。

2月17日に、糸満市観光協会がまた新糸満造船の見学が含まれているモニターツアーを主催することが決まりました。120名限定ではありませんが、可能であれば、イチマンチュ全員参加してほしいです。

ルド ▶取材をした際、糸満への愛を感じた新糸満造船の版本専務



#糸満PR大使



「#糸満PR大使」をつけて投稿してくれた写真を紹介します。

糸満市公式
X(旧Twitter)



今月の題字

ひさやま けん
久山 輝人さん

今月号の題字は久山輝人さんです。久山さんは「書き方を工夫したところは、糸満は海がきれいなので、青色を使ったこと、ひらがなだけではインパクトがなかったので、アルファベットを入れたことです。糸満ハーレーや糸満大綱引といった伝統行事が長く続いてほしいです」と話しました。



沖縄県糸満市 Itooman City

■人口

	12月	前月比
人口	62,603	116
男	31,715	75
女	30,888	41
世帯数	28,534	48

■火災・救急

	12月	前年比
火災	0件 (30件)	-2 (19件)
救急	344件 (3800件)	45 (76件)

※()内は令和5年の累計

- 面積 46.60Km² (2021年10月1日現在)
- 市の花木 ブーゲンビレア ■市の木 ガジュマル
- 市の花 日草 ■市の魚 タマン

(人口、世帯数、火災・救急件数は2023年12月末現在)

広報 ITOMAN

「声の広報」届けます

目の不自由な人に糸満市の情報を届けるため、広報いとまんをCDに吹き込み配布しています。「声の広報」を希望する人は、秘書防災課(☎840-8118)まで問い合わせてください。

ラジオ広報・市役所便り (FMたまん)

- 月～金
- ① 7時45分～7時50分
- ② 12時55分～13時
- ③ 17時55分～18時
- 土～日
- ④ 12時55分～13時